

2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の成功に向けた 取組検討調査について

1 事業目的

本県で開催される大会の成功に向けて、機運の醸成や会場周辺の活性化等について、今後の取組を推進するための調査検討を行う。

2 業務委託の概要

(1) 文化プログラム実施のための事前調査

大会開催にあわせて実施することとされている文化プログラムについて、県として、どのようなものをどのように発信していくか等の検討を行う。

①外国人に発信する効果的なテーマ及び発信手法の調査・検討

- ・外国人が興味を持つ分野の調査・検討
- ・日本や千葉県が世界にアピールできるテーマを洗い出し
- ・効果的な発信手法、イベント形式の検討

②経済効果や地域振興への貢献事例の調査

- ・ロンドンオリンピック等のレガシー事例調査
- ・県が取り組むべき施策の検討。

③留学生を対象としたモニター調査の実施

- ・留学生を対象にミニ文化イベントを開催（3回程度）
- ・イベントの効果検証と今後の方向性を検討。

(2) ボランティアの組織化・管理に関する調査

過去のオリンピックや県内の大規模イベントの実績を参考に、開催期間中に必要な都市ボランティアの体制とその管理手法について、調査・検討する。

①大会開催に必要なボランティアの種類、必要数、現状の把握（市町村別実態調査）

- ・開催期間中に必要な都市ボランティアの体制の調査・検討
（ボランティア種類別、県内地域別の概略を作成）

↳ ①交通案内、②観光ガイド、③語学、④介助、⑤事前キャンプ（通訳ボラ含む）、⑥体験ボラ（中・高校生）

②ボランティアの育成・確保、管理に係る手法の検討

- ・県内統一の養成プログラムの検討
- ・ボランティア人材の一元的管理の手法
- ・オリ・パラに向けた活用及びオリ・パラ後の活用方法の検討。

(3) 大会会場周辺の活性化に関する検討

↳ 会場及び移動の動線内は組織委員会の管轄であるため、それ以外の周辺地域について検討

大会開催へ向けた、周辺地域でのイベント等の活性化対策の検討と、開催地であることを活用した幕張の国際的ブランドイメージの創出手法を検討する。

①会場周辺のにぎわい創出（景観形成、イベント等）の検討

- ・花による景観形成、エリアW i F i の設置等、活性化対策の検討
- ・期間中の大会関連イベントの開催可能性の検討

- ・過去の幕張地区の大規模イベントの実績を参考に、立地企業・住民との連携体制（苦情対策）について調査

②大会開催を契機とした国際的ブランドイメージの創出の検討

- ・幕張新都心のブランド化及びその発信手法について検討

(4) 県内への経済波及効果（定性的効果）の把握及び2020年会場周辺地域の完成予想図の作成

大会開催に伴う県内への経済波及効果（定性的効果）の把握及び2020年会場周辺地域のレイアウト・体制図の作成を実施する。

①経済波及効果（定性的効果）の把握

- ・将来の経済波及効果算定に向けた条件整理のため、千葉県内への経済波及効果（定性的効果）を把握

②2020年のレイアウト・体制図の作成

- ・会場周辺（幕張新都心地区）のレイアウト図の作成
- ・会場周辺の人員体制、イベント開催等の概略の作成

⇒調査結果として提出された取組方法や会場周辺予想図（青写真）について、専門部会で協議・検討し、今後の取組に反映。

3 予算額

20,000千円（9月補正予算）

4 企画提案（プロポーザル）方式による委託業者の選定

9月25日（金）～10月14日（水）	公募
10月21日（水）	選定委員会（プレゼンテーション・ヒアリング）
10月22日（木）	9月補正予算議決
10月下旬	契約締結
3月中旬	履行期限

5 今後の検討課題

(1) 文化プログラム

- ・県として発信すべき文化について（伝統文化、食文化、現代文化等）
- ・外国人が関心を示す日本の文化について（インバウンド）
- ・各団体等における取組・連携（市町村の取組等）

(2) ボランティア

- ・ボランティア人材の確保（企業、外国人留学生、介助ボランティア）
- ・2020年までの活用場（イベント、空港・駅）

(3) 会場周辺の活性化

- ・地域の企業・住民の協力（専門部会0で検討が必要）